

平成28年度第3回スポーツ部会 議事概要

日時：平成28年7月4日（月）10:00～10:40

場所：大阪市役所7階 市会第6委員会室

出席委員：相原部会長、巽専門委員、藤本専門委員

〔開会〕

〔戦略全体像（事務局案）について〕

○資料1により、事務局から説明

〔目指すべき都市像と施策の方向性について〕

○資料2により、事務局から説明

〔重点取組について〕

■藤本専門委員

○重点取組の4つの視点は、各部会の枠組みにとらわれずにまとめられるのか。

→事務局（府）

○そのとおり。

■巽専門委員

○オリンピックムーブメント教育やトップアスリートによる指導の対象は、子どもたちだけでなく教員も含め、また、活動はオリンピックだけでなくパラリンピアンも一緒にやっていければと思う。

〔目指すべき都市像のKPIについて〕

■藤本専門委員

○既存統計資料からデータが取れるか分からないが、スポーツの実施に関する指標は、小学生だけでなく世代ごとのデータがあればよいと思う。また、指定管理者から施設の利用に関する情報を取るなどもできないか。

■巽専門委員

○文部科学省の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」は、小学5年生と中学2年生を対象としている。次のステップとして中高生も視野に入れるべき。

■藤本専門委員

○国際スポーツ都市の主指標として大阪マラソンの外国人参加エントリー数を入れているが、スポーツイベントにおける参加者の国籍、特にアジアからの参加者数を把握することは重要。

○特に健康に関する施策などは、モデル事業を実施した区や市町村単位で数値を集計し、他の自治体

に広めていくと成果を出しやすいのでは。

○ラグビーワールドカップの開催に合わせ、ラグビーにかかわった人数を指標に設定すると、大型イベント開催の効果、関心の高まりが把握できる。そしてそれを把握することで、イベントまでに効果的なキャンペーンや事業を打つことができる。

■相原部会長

○KPI 指標では、機運醸成イベントの参加者数となっているが、具体的な事業に向かってそれにかかわる指標がどう変化していくかは非常に面白い。そして、イベントが終わっても、その影響や効果は一過性で終わるわけではない。

■藤本専門委員

○大阪城等を大阪のランドマークに設定し、そこに観光、スポーツ、文化を組み合わせれば、いろんな相乗効果が生まれそう。

〔今後のスケジュールについて〕

■相原部会長

○7月20日の第2回本審において、部会における審議内容を報告し、戦略案の全体像を審議する。第4回部会では、重点取組項目の決定、KPIの主指標の目標値の設定について審議する。

○次回の第4回部会の日程は、8月4日（木）9時30分からを予定。

〔閉会〕